

平成19年度 第9回梅坪台地域会議 会議録

日 時 平成19年11月14日(水)午後7時~9時

場 所 梅坪台交流館 大会議室

出席者 委 員 高田 政典(会長)

中根 甫(副会長)

石井 浩次

大杉谷 正和

加藤 平一

菅野 宏誌

杉浦 紀子

鈴木 貫之

鈴木 園美

土田 晋

新美 守男

日山 幹雄

橋本 初夫

日比 あかね

三岡 義亨

村山 清子

山根 満智子

吉田 孝三

事務局 天野 正直(自治振興課主幹)

高部 広明(自治振興課係長)

林 剛士(自治振興課主事)

山崎 雄(自治振興課書記)

欠席者 内海 賢司

中垣 正長

次 第 1 会長あいさつ

2 協議・報告事項

梅坪台ふれあいまつりのまとめ

梅坪台地域会議の意見書について

地域会議と他の諸団体との連携について

わくわく事業計画変更について(伊保原自治区)

3 その他

先進地視察について

次回地域会議の日程変更について

内 容（要約）

2 協議・報告事項

梅坪台ふれあいまつりのまとめ

平成19年10月28日(日)に梅坪台交流館で行われた「梅坪台ふれあいまつり」において、梅坪台地域会議コーナーを出展。「梅坪台地域会議のご意見箱」を設置し、「梅坪台地域会議の意見書」で挙げられている提案に対する意見を募集した。

実施結果

参加者数 350人

意見回答者数 261人

梅坪台地域の良いところクイズ回答者数 237人

寄せられたご意見については、別紙1を参照。

梅坪台地域会議の意見書について

事務局 梅坪台ふれあいまつりでは、梅坪台地域会議の意見書について、261名の方からご意見をいただきました。そのご意見の約8割が、環境保護とふれあい事業に関する内容でした。

委員 梅坪台地域では、環境保護とふれあい事業への関心が高いと言える。来年度重点的に取り組む内容は、この2つのテーマから選びたい。

委員 ふれあい事業という点では、学校が中心となって、親子が一緒にあいさつ運動を行っている。

委員 環境保護や美化活動という点では、ふれあいまつりの会場で、ごみ拾い用の道具を持った夫婦を見かけた。日ごろからごみ拾いをしていて、帰り道でもごみを拾うと話していた。まちを綺麗にすることは良いことだ。

委員 ごみ拾いは、個人でも自主的に行うことが出来るため、取り組みやすい。

委員 平成20年度は、きれいな地域づくりに取り組んではどうか。

(異議なし)

委員 環境保護のために、講演会の開催や交流館祭でPR等をしたらどうか。以前、梅坪台地域で防犯の総決起大会を行い、防犯宣言をした。環境保護に関して言えば、「梅坪台ごみを捨てない宣言」を実施しても良い。

委員 駅周辺では、不法看板も問題になっている。撤去に必要な機材は、市から借りることが出来るので、不法看板の現状を把握して、梅坪台地域住民でも看板を撤去することが出来る。

委員 地域内には不法看板が無いところもある。また、不法看板の撤去には資格が必要なため、梅坪台地域全体で取り組むことは難しいだろう。不法看板が無いところには負担になる恐れもある。

- 委員 市から支給されるごみ捨て防止の看板を地域内に立てれば、啓発になる。さらに、きれいなまちづくりに向けた地域会議独自の看板を作れば、地域の熱意を見る人に伝えることが出来る。
- 委員 わくわく事業を利用して看板の作成に取り組んでも良い。
- 委員 地域のために活動している人を推薦してもらい、表彰すると良いだろう。地域会議だより等に掲載して、多くの人に活動内容を知ってもらいたい。
- 事務局 豊田市民の誓い推進協議会では、豊田市民の誓いの5項目を実践されている方に、ピンバッジを交付しています。ぜひ実践者をご推薦ください。
- 委員 自治区行事等と連携して、ゴミを拾ったらどうか。
- 委員 自治区行事で歩け歩け大会を行った。歩きながら、ゴミ拾いをしたが、ゴミ拾いに集中してしまい、ウォーキングにはならなかった。環境問題のクイズを出題するなど、行事を実施する場合には、内容を工夫したほうが良い。
- 委員 地球環境に配慮した行動も環境保護につながる。二酸化炭素を排出しないために、近くに出かけるときは自動車を使わない、アイドリングをしないなど、出来ることを地域全体で取り組みたい。

地域会議と他の諸団体との連携について

- 委員 PTA の役員は、子どもが卒業すると任期が終了する。PTA に所属する地域会議委員がいないと、連携がとりづらい。次期地域会議委員は、役員の任期を考慮して選考したい。
- 事務局 次期地域会議委員には、2年間 PTA に所属すると思われる方になっていただきたい。
- 委員 民生委員については、地域会議に出席している代表が、会議の内容を団体に情報提供している。
- 委員 地域会議で話し合った内容を他の民生委員に話しても、民生委員の活動と一致しないことがある。小中学生のあいさつ運動であれば、児童委員と関わりが深いですが、環境保護については、関係が薄い。
- 委員 次回の地域会議委員には、必ずしも、保護司から選任する必要はないと思う。保護司として、取り組める活動は限られている。

わくわく事業計画変更について（伊保原自治区）

わくわく事業計画変更の申請があり、次のように承認された。

- 事業者 伊保原自治区
- 事業名 遊歩道とマレットゴルフ場整備
- 変更内容 補助金変更額 113,000円（増額分）
（変更前補助金額 268,000円、変更後補助金額 381,000円）
- 変更理由 ・散策道の補修箇所が増えた
・マレットゴルフ場のコースを変更した（増設した）
上記の理由から、資材の丸太、ロールネット、ロープの必要量が増えた

ため。

3 その他

先進地視察について

事務局 先進地視察について希望先があれば、ご相談していただきたい。

委員 環境問題に先進的に取り組んでいる団体があれば、見学させてもらいたい。

次回地域会議の日程変更について

次回会議は、日程を変更し、12月13日(木)に開催することを確認。

終 了